

# 高知新聞

## 須崎工業高等学校

### 須崎市の課題①

任期満了に伴う須崎市長選の告示が17日に迫った。東日本大震災で被害を受けた沿岸部などで防災対策が急がれる一方、県内ワーストクラスの厳しい財政状況が続く。人口減少対策も急務で、産業振興による雇用確保など、子育て世代の定住環境整備が求められている。市の基盤維持への短所を補い、どの長所を効果的に伸ばすか、課題を探った。

**全国ワースト8位** 以後4年間も年度ごとの起債発行額を制限する市財政は2004年など財政再建を進め、14年度、職員退職金も予算年度の市債残高は185億円計上できないほどの「危」に。防災対策など必要な状況に陥った。主事業は行いつつ、新たな因は、02年高知国体に向け整備した市立スポーツセンターと、国土交通省で着実に市債を減らして約20年をかけた須崎湾、約140人減らした職員数入り口の津波防波堤で、市負担はそれぞれ26億(約20人)など「削ると円と約40億円に上った。ころはほとんどない」とその後、職員削減や給与カット(5カ年で約3・5億円)を断行して高金利負債の繰り上げ償還金返済額の割合を示す実などに努め、一時は87億、質公債費比率は2004円(02年度)だった市債年度の26・9%をピーク残高を、10年度には23億に少しずつ減少したが、14年度は19・4%は県内

## 財政と防災 どう両立

市長選17日告示、24日投開票

ワースト。全国83市区のし、予算配分にメリハリ中でも「ワースト8位」をつけなければならぬに位置している。担当者は「防災に『金がない』は通じんが、優先に行う事業を選定 財政健全化と防災。そ

### 優先施策の見極め鍵



避難訓練に臨む住民ら。市は防災対策と財政再建の課題に直面している。(昨年12月、須崎市多ノ郷甲)

のバランスに揺れる市の。現状を象徴するのが、須崎湾に面した中心市街地の防災施設だ。市は「人工構造物で備えた生涯学習施設の建設を予定していた。しかし、厳しい財政状況などを踏まえて再検討し、市内87カ所の一時避難場所と避難路の整備、小中学校の耐震化などに重点を置いた経緯がある。生涯学習施設を「抜本的に見直す」との方針で作成された「過疎地域自立促進計画」は昨年度の市議会12月定例会で可決された。市は現在、住民アンケートなどで避難困難者の把握に努めているが、あくまで一現段階では避難施設建設の計画は1人当たり面積を2平方メートル「ゆったり」計算してあり、実際の収容人数は倍以上とみられる。しかし地元住民からは「街の中に(避難タワー)などの施設を構えてほしい」との声が根強い。家屋によっては城山までの距離が数百メートルあり「住民が納得できる施策をどり着けるかどうか」とどう展開するか。(須崎支局・山本 仁)



## 12月須崎市避難訓練

### 野球・ソフト部が協力